

合格体験談

○合格した職種

神奈川県にある大磯町役場の事務職に合格しました。

○公務員試験に向けての勉強

勉強を始めたのは就活を始めたのと同様くらい（4年の4月）です。とてもリスクーなのでまねしないでください。

民間の内定があったので、落ちてもなんとかなる、と心に余裕を持って取り組むことができました。

面接練習もかねて民間を受け、内定をひとつもらっているとそこまで焦らずに公務員試験に取り組めると思います。

運が良かったのもあります。運がいいと信じることも大切です。

もうだめだと落ち込む、あきらめるのではなくできることを全力でやるのが大切です。

精神論になってしましますが、運を味方につけるような行動も心がけていました。

面接前に筆記の勉強は必要なかったので、面接で何をどう聞かれても返せるように準備するのは全力でやりました。情報ポータルから見ることができる先輩方の「公務員試験報告書」や市販の公務員試験面接でよく聞かれる質問集などの本を参考にしました。

また、YouTubeにもたくさんの試験対策の動画があがっているので、それらを参考にしました。

○試験内容

教養試験、適性検査と書かれていましたが、いかに早く正確に問題を解くかが試される試験でした。情報処理能力を試される試験で、簡単な計算、仲間はずれを探すというような問題から記憶力を試される問題もありました。

就職活動自体は民間公務員併願でしたが、勉強することが苦手だったので、公務員試験をSPIで受験できるところに絞りました。

就職先は、教養試験・適性検査とあったのでその前は市販の参考書を使って勉強しました。しかし、実際に受験すると勉強したことが全く出でこず、違う形式の問題でした。このときに焦らずに問題を見てから瞬時に頭を切り替えることが大切だと感じました。さらに対策や調べた情報と異なる問題が出ることもあると考えておくと慌てずにすむと思います。

○勉強が辛い時期

無いに等しかったです。もともと筆記試験を重視していなかったので点数をとることにこだわってはいませんでした。しかし、受からない不安や周りが決まっていく中での焦りはあったので、その部分は公務員を受ける上で避けては通れないものだと思います。

また、コロナウイルスの流行で友人に会うことができず、ひとりで頑張っているという孤独感があり、その点もつらかったです。

でも、ゼミ担任の先生やキャリア支援課の方々がとても親身になって支えてくださったので、乗り越えることができました。

最終的に合格が出たのは12月でした。

民間に内定はもらっていましたが、公務員の方が志望度は高く、最後の頼みの綱で受けた役場に合格をもらうことができました。

筆記はある程度しか勉強していなかったのですが、面接対策はほぼ毎日何時間もやりました。キャリア支援課やゼミ担任だけでなく、社会人の友人やアルバイト先の社員など、実際に社会に出ている先輩目線からの意見をたくさん聞きました。また国語が得意な友人にも添削してもらい、文章が崩壊せずにうまく伝わっているかということも聞きました。

○大学時代取り組んでおけば良かったこと

勉強はもちろん大切ですが、お金の勉強、計画性をもって行動することを学ぶべきだと感じました。

大学時代遊ぶお金のためや欲しいものを買うためにアルバイトに明け暮れる日々でした。

浪費しては稼ぎ、の繰り返しだったので貯金が全くできませんでした。

貯金ができていれば公務員予備校に通ったり、模試を受けたり、もっと上を目指すための勉強ができたと思います。

実際アルバイトをしながら就職活動も勉強もしていたので貯金があれば勉強一本に集中できたであろうと今では思います。

また、生活費の心配をせず、心に余裕をもって過ごせたらろうと思います。

さらに、多くの方が言うと思いますが、早めに勉強を始めることです。選択肢が増え、行きたいところに行ける可能性が高くなります。

1年生から毎日ガリガリ勉強する必要は無いですが、普段から勉強することに慣れておけば、いざ本気で勉強を始めるときに、抵抗なく始められると思います。

○面接の内容

大磯町役場（採用）

一次試験 筆記（教養試験）、論文（テーマ：大磯にたりないもの）

二次試験 適性検査、面接（個人）面接官4名 課長クラス 私という人物について聞かれることが多かったです。一番困った質問は「苦手なタイプは？」

最終試験 面接（個人）面接官3名 副町長、部長2人 入ってからやりたいことなど具体的なことを聞かれました。

藤沢市役所（三次不合格）

一次試験 エントリーシート、SPI

二次試験 面接（集団）面接官 2 名、受験生 4 名 自己 PR、志望動機、学チカに加えてユニークな質問（1000 万あったら何に使いたいのか、もし夢が叶うなら、人類最大の発明）

三次試験 適性検査（知能・記憶力）、面接（個人）面接官 3 名 入ってからやりたいことなど具体的な質問

面接ではいかに自分という人間をアピールできるかを頑張りました。自分は特に優れたことやすごいことができるわけではなかったので、人柄について、内面的なことを全面的に押し出しました。

そのために自己分析や他己分析を繰り返しやりました。

個人面接で不合格となった理由は志望動機が固まっていなかったこと、学チカの仕事への活かし方、職場でやりたいことが自分の中で突き詰められていなかったため回答に詰まってしまったことだと考えられます。

○面接対策

何回もキャリア支援課に行きました。法学部担当の工藤さんに模擬面接や ES 添削を何回もお願いして何回も通いました。キャリアアドバイザーの先生にもお願いをして内容確認や模擬面接をやりました。

また、受ける自治体の HP を隅々まで読み、その自治体のいいところ・改善点・入ったらやりたいことを各 3 つは必ず言えるようにしました。

そのほかにも、違う自治体で過去にどんなことを聞かれているかを調べ、自分ならこう答えるという練習は徹底的にやりました。

縁もゆかりもない自治体を受けたので、どうしても志望動機がギリギリまでまとまっていませんでした。

しかし、その自治体に興味を持ったきっかけを話してから、自治体の特徴と自分の強み、やりたいことを照らし合わせてこういう共通点があってこういう自分の強みをいかしたいと思った、というふうに言うことでうまく伝わったのではないかと思います。

また、自治体 HP の実際に寄せられた町民の声の欄は隅々まで読み、そこから課題を見つけ、面接の際にこれだけ勉強してきたんだ、というアピールの姿勢を出すようにしました。あとは表情にも気をつけました。緊張はするかも知れませんが、笑顔を意識することで面接官からとっつきやすい印象を抱いてもらえると思います。極論、面接官と一緒に働きたいと思える人を選ぶので、二者とも同じ内容なら無表情で淡々と答える人よりは、笑顔で抑揚のある答え方ができる人の方が印象は良いと思います。

初対面の人でも笑顔で話せるように接客業のアルバイトを経験しておくのも良いと思います。

○メッセージ

私は国立大学を目指し2年浪人しましたが、結局受からずD日程で入学しました。

最初は教養科目ばかりで、浪人の時の基礎学力があり、成績は良い方でした。しかし2年からは専門科目だけになり、みんな1からのスタートなのは同じです。

私はアルバイトや遊びに明け暮れ、成績はとことん落ち、なんとか単位を取るという生活を送っていました。

もし今の時点で、専門科目の必要な業種を志望している人がいるなら、普段の授業をしっかり聞いて、少しだけでもいいので復習する習慣をつけておくと良いと思います。

成績が悪かった時期が続いていましたが、そこから奮起し、公務員に合格することができました。

勉強が苦手なのは変わりませんが、自分の強みが生かせる試験方法を選んでそれに挑戦するのもいいと思います。

学校の成績が悪く、コミュニケーションが得意でなかった私でも公務員試験に合格することができたので、もし公務員になることが自分にとって高いハードルだと思っていなくても、諦めずにやってみてください。応援しています！